

迫力ある和太鼓の演奏に心躍る！

ゆうゆうカフェと鼓友会が交流

1月6日、錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバーと、町内で活動する和太鼓集団「鼓友会」の交流会が行われました。当日は、役場職員でゆうゆうカフェのスタッフを務める若年性認知症当事者の鶴田明さんも、長年在籍する鼓友会の一員として参加。力強く安定感のあるパチさばきを披露し、参加者から大きな拍手が送られました。



鼓友会の南園高樹さんは「鼓友会は毎週金曜日に田代小で練習しているので、興味のある方はいつでも遊びに来てほしい」と話しました。

モトクロスは起伏の激しいコースをバイクで周回する競技。バイクを駆使したダイナミックなジャンプがこの競技の見どころ。



田代中出身 川路蒼馬さん モトクロスでチャンピオン獲得

櫻美学園高等学校1年の川路蒼馬さん（田代中出身）が役場を訪れ、2025年九州モトクロス選手権シリーズと中国同選手権シリーズの国内B級でチャンピオンになったことを報告しました。川路さんは、放課後30～40kmをロードバイクで走り、持久力や体幹を強化。「来年は国内A級になるが、上を目指して頑張っていきたい」と語りました。

ジョイスounズは、田代小リードバンド部の卒業生がずっと音楽を続けられるようにと結成された団体で、今年で19年目。君付忠和代表は「田代小での演奏を心待ちにしていた」と話しました。



2月14日、田代小学校でジョイスounズによる音楽鑑賞会が開かれました。これは音楽の授業の一環として行われたもので、先生方の「子どもたちに生の音楽を間近で聴かせたい」という思いから実現しました。3年生の尾長谷梨美さんは「みんなの音が重なり合っていて、とてもいい演奏でした」と感想を述べました。

生の音色が心に響く ジョイスounズ音楽鑑賞会



プロデビューを目指して

南大隅高校から競輪学校へ

南大隅高校3年の山本武蔵さんが役場を訪れ、日本競輪選手養成所第131回男子選手候補生に合格したことを報告しました。神奈川県出身の山本さんは、プロを目指し、練習環境の良い南大隅高校に入学。「プロになるのは小さい頃からの夢。オリンピックを目指したい」と意気込みを語りました。



競輪学校は、400名を超える受験者の中で合格者は72名という狭き門。山本さんは2027年のプロデビューを目指します。

約250人の選手が、5日間で52区間567.5kmを走る県下周駅伝。現存する駅伝で世界最長とされています。



県下周駅伝が5日にわたり開催 12チームの選手錦江町駆け抜ける

第73回鹿児島県下周市郡対抗駅伝競争大会が、2月21日から25日までの5日間行われました。最終日には根占中学校下を出発し、第1中継所の「にしきの里」を目指す選手たちが錦江町を駆け抜け、沿道からはたくさんの声援が送られました。肝属チームは総合3位の大健闘。選手の皆さま、お疲れ様でした。

おんどろ ONDO Inc. が錦江町に進出

新たな企業がサテライトオフィスに

令和8年1月から地域活性化センター神川に「ONDO Inc. 鹿児島なんぐう支店」が入居されました。ONDO Inc. は大阪と東京に拠点を構え、イベントのプロデュースやイベントスペースの運営などを手掛ける企業。CEOの鳥山郷さんは「錦江町に行ってみようという知人や経営者仲間がたくさんいるので、ツアーを組んで連れて来ます」と語りました。



「錦江町は他の地域に比べて、情熱を持った方がとび抜けて多い。これからの構想を考えるとわくわくする」と語る鳥山さん。

「町の淘汰事業を活用し、牛の入れ替えを行ったことが母牛の繁殖率向上につながっているのでは」と語る畜産技師の皆さん。



分娩間隔で成績優秀 田代和牛改良組合が全国表彰

田代和牛改良組合が「令和7年度分娩間隔の部」で全国和牛登録協会から表彰を受けました。この賞は、母牛の出産までの間隔が短い全国上位15団体に贈られるもの。全国平均が405日であるのに対し、田代地区は383.2日と大きく上回る成績を収めました。貫見広幸組合長は「技術員や若手農家の努力が実を結んだ」と喜びを語りました。

令和7年度「いい歯で元気番付表」を作成しました。
この番付表は、令和7年度に実施の「いきいき歯ッピー健診」と歯周病検診を受診され、8020、7821、7621、7022、6523を達成された方々を掲載させていただきました。

西		いい歯で元気番付表		東	
瀬戸 初(瀬戸山)	岩田 瑤子(山多口)	上鶴 豊(神山中原)	山本 順子(神多橋二区)	横綱 八〇二〇	尾崎 勇(神山新町)
福留 道子(山多口)	久永 節子(本町)	徳永 哲朗(神山中)	小原 清武(神山上)	大関 七八二一	木下 田鶴子(森)
下村 彦子(中園)	牧原 恵(協和)	中道 義章(鳥井)	近川 重雄(北志知)	大関 七五二二	皆倉 和子(皆倉)
中野 豊見(宿村原)	山崎 隆(宿村原)	田崎 勝(岩崎)	山崎 隆(岩崎)	大関 七〇二二	落司 弘子(旭町)
上鶴 修(神山上)	瀬田 由美子(宿村原)	瀬田 由美子(宿村原)	瀬田 由美子(宿村原)	小結 五五二二	落司 ハルエ(本原)
					皆倉 和子(皆倉)
					木下 田鶴子(森)
					尾崎 勇(神山新町)
					厚ヶ瀬 政美(塩屋)
					徳永 雅香(皆倉)
					河野 妙子(麓)
					山本 サチ子(本原)
					西多園 豊(神山中)
					大園 ミヨ子(紫文)
					本坊 エミ子(塩屋)
					坂元 茂樹(麓)
					鶴田 敬男(山多口)
					当房 寿恵(六反田)
					釘田 良子(紫文)
					福岡 より子(鳥井)
					松元 文子(瀬戸山)
					引地 秋夫(鶴園)
					眞茅 昌子(山南)
					小崎 裕子(早瀬)
					寺田 裕子(本原)
					大庭 裕子(昇陽)
					小牧 和代(本町)
					宮原 巖(神多橋二区)
					上原 昭(鳥井)
					隈元 洋子(塩屋)
					磯口 ちどり(鳥井)
					飯隈 収(本原)
					古田 峰子(瀬戸山)
					大園 恵子(山北)

旧土木事務所跡に木造戸建て10戸 子育て支援住宅の地鎮祭

2月20日、旧土木事務所跡に整備する子育て支援住宅の地鎮祭が行われました。環境に配慮した構造の木造戸建て10戸の建築を予定しています。住宅には錦江町産の木材を使用し、子育て世帯が安心して暮らせる住環境の整備を目指します。完成は令和9年2月を予定。関係者一同、工事の安全と順調な進行を祈願しました。



子育て支援住宅の間取りは、家族で広々と暮らせる3LDK。今後の進捗状況は広報紙や町ホームページ等でお知らせしていきます。

使用したタオルは町民から無償提供されたもの。大根占小へ220枚、田代小へ150枚、役場へ20枚、計390枚の雑巾が贈呈されました。



「みんなで使ってね」心を込め製作 カフェメンバーさん手縫いの雑巾を贈呈

2月4日、ゆうゆうカフェのメンバーさんたちが製作した雑巾の贈呈式が大根占小学校で行われました。贈呈された雑巾は、「ハタラク」取組の一環として、カフェの時間に取り組んできた「雑巾づくりプロジェクト」でメンバーさんが手縫いしたもの。これまで交流のある大根占小学校と田代小学校、役場に贈呈されました。

80歳になっても20本以上の歯を保つ 令和7年度8020運動で9名受賞

1989年から国と日本歯科医師会が推進する「80歳になっても20本以上自分の歯を保つ」8020運動の表彰式が1月31日に行われ、6名に表彰状が手渡されました。健康なお口は、フレイル予防にもつながります。歯磨きはもちろん、普段から定期健診もしっかり受けている皆さんはとてもお元気でした。



左から皆倉和子さん、落司ハルエさん、上鶴豊さん、書川弘子さん、安田瑤子さん、木下田鶴子さん。右上左から瀬戸初さん、尾崎勇さん。出席できませんでしたが、山本順子さんもお賞しています。※番付表を次ページに掲載しています。ご覧ください。

5小小梅枝慶祐さんは「災害時を想定して、水や食料を備えることが必要だと分かった。簡単に米が炊けてびっくりした」と話しました。



今年で4年目 田代小5年生防災教室 もしもの時の備え 炊き出し体験

2月14日、田代小5年生を対象に防災教室が行われました。町防災専門監と町社会福祉協議会職員が講師を務め、児童は災害時に必要なものや行動の仕方などを学習。また、災害時を想定して大きな釜を使い、ポリ袋に入れた米を炊く「炊き出し体験」を実施し、災害時でも身近な物で簡単に調理できることを学びました。